

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 4 回 定 例 会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	林 隆 壽	1 さとうきびの生産対策について	(1) さとうきびは、昨年・今年と2年連続の台風災害に見舞われ、今年の収穫量も大幅減収となるなど、生産始まって以来の大凶作となる見込みである。これに伴って製糖期間が短縮されると、生産農家及び収穫作業受託組織の収穫作業に混乱を来すばかりでなく、再生産意欲が減退して、さとうきび栽培面積の更なる減少につながるのではないかと懸念されるが、来年度に向けてどのような対策を講じる考えであるか。	町 長
		2 安心・安全なまちづくり対策について	(1) 台風時の避難場所や災害が起きたときの対応等については、町民に周知を図っているが、東日本大震災やフィリピンを襲った台風30号に見られるように、いままでの常識がくつがえされる想定外の事態を目の当たりにすると、備えに万全というのではないのだと改めて痛感した。このような教訓や観点から、本町の指定する避難場所を見直す考えはないか。 (2) 避難に際しては、町民に対し避難グッズ及び食料を携帯するよう呼び掛けているが、災害の種類や規模によっては対処できない場合もあり得る。このため、自治公民館等の指定避難場所には、最低限の飲料水、食料品及び幼児・高齢者等に対する必需品等の備蓄はもとより、これらの弱者に配慮した設備も必要であると痛感されるが、これについてどう考えているか。	町 長
2	林 敏 治	1 自然災害に強いまちづくり対策について	(1) 与論島は平坦な地形で台風等の自然災害の影響を受けやすいため、集落住民一体となった防災活動を強化し、安心・安全に暮らせる自然災害に強いまちづくりを推進する必要があると痛感するが、このことについ	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 4 回 定 例 会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	林 敏 治		て対策をどう考えているか。	
		2 成長戦略ビジョンについて	(1) 流通コスト高により農業漁業等各種産業を取り巻く状況は極めて厳しいものがあるが、IT技術を活用した販売体制の確立や沖縄を物流拠点とした流通ルートの確立などの取組が必要であると思われるがどう考えているか。 (2) 与論島には地理的特性や歴史的特性からくる島独自の魅力があるが、未来に向けその自然環境や伝統文化の保全が必要であると思われるがどう考えるか。	町 長 町 長 教 育 委 員 長
3	喜 山 康 三	1 危機管理対策について	(1) 非常時の指揮命令や情報の伝達と収集の方法及び消防車両機器の保全管理の在り方等についてどの様な対策、施策を講じているか。 (2) 昨年、本年と続く台風災害において光イントラネット事業のリスクは看過できる事態ではないと思われるが、経営方針について伺いたい。	町 長 町 長
		2 教育長の教育方針について	(1) 教育長が考える学校教育に対する基本的な考えと抱負を伺いたい。 (2) 教育現場における災害時や不測の事態への危機管理や事件・事故及び不祥事等の発生を未然に防止する重要なファクターの一つに、保護者との意思疎通、信頼関係の構築があると考えますが、どの様な対策を考えているか。	教 育 委 員 長 教 育 委 員 長
		3 職員採用及び職場の作業効率の向上について	(1) 採用試験はどのような方法で行っているか。また、その方法について公明性の推進や改善等の必要性はないか。 (2) 職場の作業効率の向上を図るため、情報共有化など	町 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 4 回 定 例 会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3	喜 山 康 三		I T 活 用 の た め の 施 策 に ど の 様 に 取 り 組 ん で い る か 。	
4	高 田 豊 繁	1 公 金 の 運 用 に つ い て	(1) 公 金 の 運 用 に 関 す る 「 財 政 運 用 基 本 方 針 」 を 策 定 し、 財 政 運 用 の 合 理 化 を 図 る 考 え は な い か。 (2) 公 金 の 合 理 的 管 理 運 用 に 関 す る 「 公 金 管 理 運 用 委 員 会 」 を 設 置 し、 上 記 基 本 方 針 に 基 づ く 外 部 意 見 を 取 り 入 れ た 公 金 運 用 を 図 る 考 え は な い か。 (3) シ ン ク タ ン ク 等 へ の 職 員 研 修 や、講 師 の 招 へ い 研 修 等 を 通 し、 財 政 運 用 に 精 通 し た 職 員 を 養 成 す る 考 え は な い か。	町 長 町 長 町 長
		2 防 災 対 策 危 機 管 理 の 強 化 に つ い て	(1) 年 々 強 大 化 す る 台 風 や 竜 巻 災 害、干 ば つ 被 害、更 に は 南 海 ト ラ フ、 フ ィ リ ピ ン プ レ ー ト の 地 震 が 予 測 さ れ て い る が、防 災 対 策 や 危 機 管 理 に 関 す る 部 門 を 強 化 す る 考 え は な い か。 (2) 行 政 側 と 外 部 委 員 に よ る 「 防 災 対 策 危 機 管 理 協 議 会 」 を 設 置 す る 考 え は な い か。	町 長 町 長
		3 与 論 島 カ レ ン ダ ー の 製 作 と 活 用 に つ い て	(1) 与 論 島 の 自 然、文 化、特 産 品、各 種 施 設、方 言、各 種 イ ベ ン ト 等 を 網 羅 し た 与 論 島 カ レ ン ダ ー を 製 作 し、 フ ァ ン 感 謝 祭 や 各 種 イ ベ ン ト 等 で 配 布 し た り、ふ る さ と 納 税 者 等 へ 送 付 す る な ど 観 光 面 そ の 他 で の 効 果 的 活 用 を 図 る 考 え は な い か。	町 長
5	町 俊 策	1 水 産 業 の 振 興 に つ い て	(1) 豊 かな 沿 岸 海 産 物 を 育 く む 藻 場 が 消 滅 し 磯 焼 け が 深 刻 な 問 題 と な っ て 久 し い が、藻 場 の 現 状 を ど の よ う に 把 握 し、 こ れ ま で の 取 組 と そ の 成 果 か ら 今 後 ど の よ う に 取 り 組 ん で い く 考 え で あ る か。 (2) 近 年、漁 場 の 遠 距 離 化 に 伴 う 漁 船 の 大 型 化 と 遊 漁 船 も 含 め て 船 が 増 加 傾 向 に あ る が、船 舶 の 定 期 検 査 や 修	町 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 4 回 定 例 会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
5	町 俊 策		<p>繕等に不便を来していると聞く。漁師等の安全操業を確保し、水産業の振興を図るためドックの設置と船の修繕技術者の養成が必要不可欠と考えるが、このことについてどう考えるか。</p> <p>(3) ドックを設置し、船の保管場所と技術者を確保することにより都会のヨットオーナーを対象に船の管理業務が発生し、雇用の確保と漁協の運営の健全化に貢献できると思うが、このことについてどう考えるか</p>	町 長
		2 在来種の「ミカン」の再生について	<p>(1) 島内全域に自生していた在来の小ミカンやイシカタ、イラブオートー等のミカン類が病害虫やその駆除のための伐採などによって絶滅に近い状況にある。これらの品種をハウス栽培で保護し増産することで、ジャムやジュース類などの特産品の創出につながると思われるが、苗木の育成費やハウスの設置費用など支援する考えはないか。</p>	町 長
6	麓 才 良	1 復興対策について	<p>(1) 度重なる台風災害で防風、防潮林が大きな被害を受けているが、その復興に向けてどのような手だてを考えているか。</p>	町 長
			<p>(2) 町民が復興への目標を共有するために目指す環境デザインを整理して示すことが肝要ではないかと考えるが、そのような仕組みを講じる考えはないか。</p>	町 長
			<p>(3) 災害に強いまちづくりはもとより、復興に向けコミュニティの見直しが必要ではないかと考える。そこで小組合を基本としたコミュニティの体制強化が望まれると思うが、そのことについてどのように考えるか。</p>	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 4 回 定 例 会 No. 5

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
6	麓 才 良	2 少 子 高 齢 化 対 策 に つ い て	(1) 幼 少 期 に お け る 三 世 代 間 交 流 は 子 育 て に お い て 極 め て 大 事 な こ と で あ る 。 こ の こ と か ら 子 ど も 園 に お け る 高 齢 者 と の 日 常 的 な 交 流 の 仕 組 み を 検 討 し 推 進 し て い た だ け た い が 、 こ れ に つ い て ど う 考 え る か 。	町 長 教 育 委 員 長